

SL全盛期の雰囲気により味わえる「ぶどう色」の客車が登場！

## 14系客車の塗装変更について

東武鉄道株式会社

東武鉄道では、「鉄道産業文化遺産の保存と活用」を目的の一つとして、SL運転を行っていますが、今般、SL全盛期の「昭和レトロ・ノスタルジー」な雰囲気をより味わっていただけるよう、客車1両を国鉄時代の旧型客車で採用していた当時の塗色「ぶどう色2号」に変更し運転します。

当面は新旧塗装の混成編成での運転となりますが、今後については追加で2両も塗装を変更し、1編成全車両を「ぶどう色2号」で塗装した編成での運行も計画しており、日光・鬼怒川エリアにおける観光コンテンツの一つとして、多様な楽しみ方を提案してまいります。

一方、現在復元作業を行っているSL（C11 123号機）については、SLの心臓部であるボイラーの修繕作業が終了し、5月26日に修繕をしていた株式会社サッパボイラから、南栗橋SL検修庫に搬入されました。引き続き、本年冬の復元を目指し、復元作業を継続してまいります。

この度の塗色変更した客車の概要については下記のとおりです。

### 記

1. 塗装変更内容 現行青色（白帯あり）から、ぶどう色2号（帯なし）に変更
2. 対象車両 14系客車1両（スハフ14-5）
3. 運行開始日 2021年6月19日（土）
4. その他 塗装変更後、当面の間は現行塗装の客車と混成して運転します。



△塗装変更したスハフ14-5



△SL大樹

以上